

まちづくり評価

【Ⅱ 健康、福祉分野】

江 南 市


まちづくり評価シート

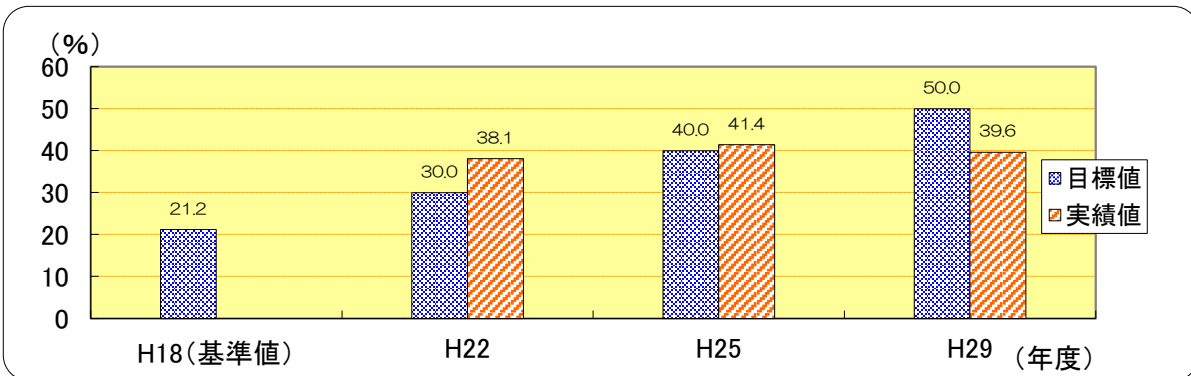
健康福祉部【担う分野：Ⅱ 健康、福祉分野】

高齢者生きがい課【担う柱：1 高齢者の住み慣れた地域での生活の確保】

◆まちづくり（成果目標）の達成状況

全体目標 高齢者が生きがいをもって安心して暮らしている




指標名	高齢者が、生きがいをもち、自立して暮らしていると感じる市民の割合			実績値の分析
	単位	H18 (基準値)	H29	
目標値		—	50.0	高齢者が生きがいをもって暮らしていけるよう、高齢者福祉事業の推進に努めた。これらの事業やサービスについて、市民に浸透しつつある。
実績値	%	21.2	39.6	
達成率	%	—	79.2	
達成状況	—	—		



全体目標に対するまちづくり評価




地域包括支援センターなどの関係機関と連携し、市民が積極的に介護予防に取り組める体制づくりや介護予防・介護相談の窓口の充実を図り、それぞれにあった適切なサービスの提供に努めている。シルバー人材センター、老人クラブの活動などの支援を通じた高齢者の生きがいの創出と高齢者が住みなれた地域で自立した生活が送れるような支援をしていただきたい。

個別目標① 高齢者が介護予防に取り組み、介護が必要になっても地域で安心して暮らしている

指標名	高齢者人口に占める要介護者の割合						主な事務事業
	単位	H18 (基準値)	H26	H27	H28	H29	
目標値		—	13.6	13.7	13.8	14.2	・介護認定支援事業 ・地域支援事業
実績値	%	13	13.2	13.2	13.4		
達成率	%	—	103.0	103.8	103.0		
達成状況	—	—					

取り組みの状況

市民	介護予防に関する講座等を受け、介護予防への意識が高まった。
市役所	公平・適正な介護認定を行うため、審査委員や調査員の研修を行った。 市民が積極的に介護予防に取り組めるよう介護予防事業の拠点を拡大し、また、地域においても自主的な介護予防活動が継続できるよう関係機関と連携し、サポートに取り組んだ。

指標名	介護保険サービスを利用している割合						
	単位	H18 (基準値)	H26	H27	H28	H29	主な事務事業
目標値	%	—	82.0	83.0	84.0	85.0	・介護保険居宅サービス等給付事業 ・介護保険施設サービス給付事業 ・住宅改修・福祉用具支給決定事業 ・介護サービス負担軽減事業
実績値		77.2	85.1	85.1	90.8		
達成率	%	—	103.8	102.5	108.1		
達成状況	—	—					

取り組みの状況

市民	介護サービスなどの利用について、市の窓口や地域包括支援センターなど複数の相談窓口が設けられている。
市役所	介護保険ガイドブックを送付し、広報こうなんにサービス利用の案内を掲載するなど、介護サービスの利用促進に努めた。


目標達成のための今後の展開方針

高齢者の方が元気で充実した生活が過ごせるように、運動教室や、保健、医療、福祉に関するサービスを通して介護予防事業を実施する。
 また、介護が必要な状態になっても、住み慣れた地域で生活できるように地域包括ケアシステムの構築を図りながら、迅速で的確な介護サービスが受けられるような体制づくりに努める。

個別目標に対するまちづくり評価

要介護認定者になるのを防ぎ、介護にかかる給付費を抑える一方、介護状態になっても必要な介護サービスが安心して受けられるよう、サービスの充実をめざしていただきたい。

個別目標② 高齢者が在宅で安心して暮らしている

指標名	高齢者の在宅生活のための福祉サービスが充実していると感じる市民の割合						
	単位	H19 (基準値)	H26	H27	H28	H29	主な事務事業
目標値	%	—	40.0	—	—	50.0	・緊急通報装置設置事業 ・高齢者住宅改善助成事業 ・高齢者タクシー基本料金助成事業 ・在宅ねたきり老人等紙おむつ支給事業
実績値		28.5	—	—	—	36.1	
達成率	%	—	—	—	—	72.2	
達成状況	—	—	—	—	—		

取り組みの状況

市民	高齢者の在宅生活のための福祉サービスがなされている。
市役所	高齢者の在宅生活に必要な福祉サービスに関する各種事業を展開している。

目標達成のための今後の展開方針

高齢者の生活における諸問題(虐待・独居老人の生活支援)等に対して、地域包括支援センターを中心にその解決に向けて活動しているが、市の関係課担当職員との連携が必要であり、今後においてもより一層の支援、連携を図ることが必要である。
 日常生活支援事業(自立のヘルパー・デイサービス・ショートステイ)、給食サービスを介護保険総合事業に移行することにより、事業費は縮小となる。

個別目標に対するまちづくり評価

高齢化に伴い、ひとり暮らし高齢者や介護が必要な高齢者の増加が予測されるなか、高齢者が住み慣れた地域で安心して生活できるよう、ひとり暮らし高齢者などの見守り支援を始め高齢者福祉サービスの充実を図っていただきたい。

個別目標③ 老後も高齢者は生きがいをもって充実した生活を送っている

指標名		シルバー人材センターの登録者数					
	単位	H18 (基準値)	H26	H27	H28	H29	主な事務事業
目標値		—	440	453	467	467	・高齢者生きがい活動事業
実績値	人	491	344	344	345		
達成率	%	—	78.2	75.9	73.9		
達成状況	—	—					
取り組みの状況							
市民	生きがいをもって働きたいと思う高齢者に、シルバー人材センターの会員登録ができるようになっており、広報紙への掲載でさまざまな情報が得られている。						
市役所	高齢者が生きがいをもって働きたいと思える事業を展開するためにシルバー人材センターへの補助金を交付している。						

指標名		老人クラブの会員数					
	単位	H19 (基準値)	H26	H27	H28	H29	主な事務事業
目標値		—	5,400	5,400	5,400	5,400	・老人クラブ事業
実績値	人	6,866	4,797	4,535	4,319		
達成率	%	—	88.8	84.0	80.0		
達成状況	—	—					
取り組みの状況							
市民	高齢者が親睦を深めたり地域活動を行ったりして、生きがいのある充実した生活を送れるように、老人クラブ事業が展開されている。						
市役所	高齢者が親睦を深めたり地域活動を行ったりして、生きがいのある充実した生活を送ってもらうように、老人クラブ事業を支援し、補助金を交付している。						

目標達成のための今後の展開方針

シルバー人材センターや老人クラブの自主的な活動を推進するため、補助金を交付するとともに、更なる会員数の増加と事業の充実を図るため、市が積極的に関わることで、高齢者が生きがいのある充実した生活を送ることができるよう支援していく。
敬老会事業については、今後見直しを進める。

個別目標に対するまちづくり評価

高齢者が生きがいのある充実した生活を送ってもらえるように、今後もシルバー人材センター、老人クラブへの支援をしていただきたい。

柱全体のまちづくり評価

◆柱全体の得られた成果

地域包括支援センターや社会福祉協議会と連携して進めた介護予防教室の拠点づくりが市内各地に広がるにつれ、地域の自治会による自主的な介護予防教室開設への支援依頼が増えてきている。また、継続的にシルバー人材センター、老人クラブの活動へ支援することにより、安定的に高齢者の生きがいの場を確保できている。

◆柱全体の今後の課題

これからの超高齢社会の進展に伴う資源の増大が懸念される中、高齢者が生きがいをもち、自立して暮らしていると感じている市民の割合が39.6%と横ばいであることは、受益者負担や享受するサービスのあり方とともに、時代に即した事業の見直しを検討し、今後の活動を継続していくことが必要である。また、介護予防や地域での支え合いを促進する事業の展開と、社会から孤立する高齢者への対策が必要である。

◆柱全体の今後の取り組みの方向性

高齢者の活躍の場の確保、介護予防の取り組みを進め、高齢者が住み慣れた地域で生きがいをもって暮らすことができるような地域づくりの支援をするとともに、介護が必要になっても安心して暮らすことができるよう、医療・介護・予防・住まい・生活支援を一体的に提供できる体制づくりや地域のつながり、支え合い活動を支援していく。

まちづくり評価シート

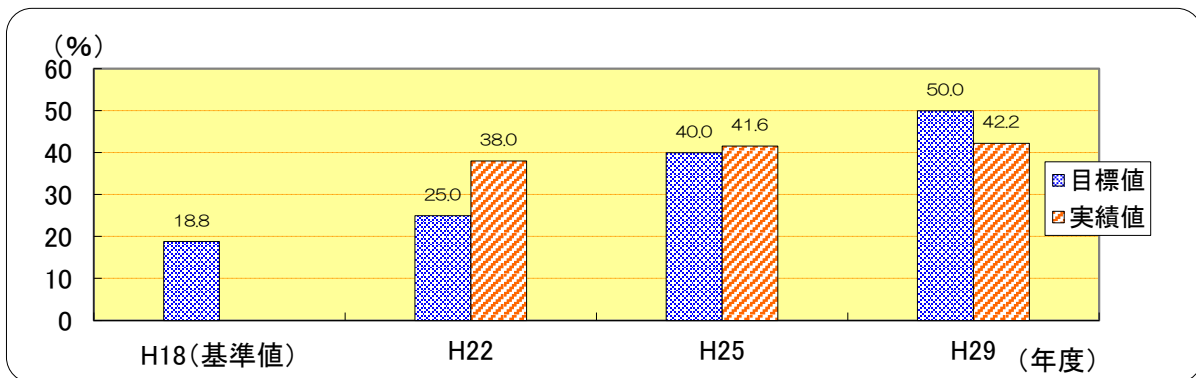
健康福祉部【担う分野：Ⅱ 健康、福祉分野】

子育て支援課【担う柱：2 地域で安心して子育てできる環境づくり】

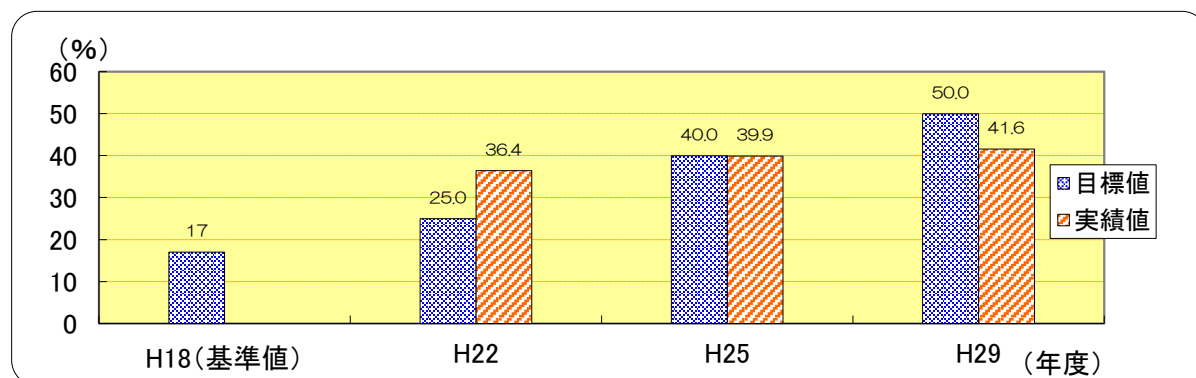
◆まちづくり（成果目標）の達成状況

全体目標 安心して子育てしている

指標名	延長保育などの保育サービスを受け、安心して子育てしていると感じる市民の割合			
	単位	H18 (基準値)	H29	実績値の分析 延長保育や一時預かり等の保育サービスを提供しているが、病児・病後児保育や休日保育等、保育サービスに対するニーズが多様化してきており、課題となっている。
目標値		—	50.0	
実績値	%	18.8	42.2	
達成率	%	—	84.4	
達成状況	—	—		






指標名	学童保育や子育て相談・育児教室などの子育て支援を受け、楽しく子育てしていると感じる市民の割合			
	単位	H18 (基準値)	H29	実績値の分析 学童保育の利用対象年齢の拡大や子育て支援センターの増設など子育て相談、子育て支援の充実を図った。
目標値		—	50.0	
実績値	%	17.0	41.6	
達成率	%	—	83.2	
達成状況	—	—		









全体目標に対するまちづくり評価

近年の急激な社会変化の中で、子どもたちの豊かな心と健やかな育ちを育むために、きめ細かな子育て支援サービスが求められているが、行政だけでなく地域全体で子育て支援・子どもの健全育成に取り組む必要がある。そのためには、地域全体で子育てを応援するという意識啓発を行い、家庭、地域でできることから積極的に取り組み、市民と行政、団体、そして地域が連携して、よりよい子育て環境づくりを進める必要がある。

個別目標① 働きながら子育てする家庭が、安心して育児ができています

指標名 保育園入園待機児童数							
	単位	H18 (基準値)	H26	H27	H28	H29	主な事務事業
目標値	人	—	0	0	0	0	・保育園保育事業
実績値		0	0	0	0		
達成率		%	—	100.0	100.0	100.0	
達成状況	—	—					
取り組みの状況							
市民	保育要件に基づき入園申請を行い、入園決定した保育園に通園した。 定められた保育料を納期限内に支払った。						
市役所	保育園への入園希望者に対し、要件の審査及び利用調整を行い、入所決定及び保育料の決定をした。 多様な保育ニーズに対応するため、延長保育、一時保育等を実施した。						

指標名 保育園の障害児受入待機児童数							
	単位	H18 (基準値)	H26	H27	H28	H29	主な事務事業
目標値	人	—	0	0	0	0	・保育園保育事業
実績値		0	0	0	0		
達成率		%	—	100.0	100.0	100.0	
達成状況	—	—					
取り組みの状況							
市民	障害児保育実施園の入園申請をし、保育園に通園した。						
市役所	保育園への入園希望者に対し、入所決定をした。 加配保育士を配置し、児童に応じた個別計画を基に集団生活での援助を行った。						

指標名 ファミリー・サポート・センター援助員数							
	単位	H18 (基準値)	H26	H27	H28	H29	主な事務事業
目標値	人	—	150	165	180	200	・ファミリー・サポート・センター事業
実績値		85	109	103	97		
達成率		%	—	72.7	62.4	53.9	
達成状況	—	—					
取り組みの状況							
市民	ファミリー・サポート・センターの援助会員として登録し、援助活動を行った。						
市役所	ファミリー・サポート・センターの依頼会員と援助会員との連絡調整を行い、子育て中の家庭の支援を実施した。						

目標達成のための今後の展開方針

保育園については、施設・設備の老朽化への対策も含め、効率的な運営に努めるとともに、ひとり親・共働き世帯の増加や就労時間の多様化などから、低年齢保育、延長保育、一時保育、病児・病後児保育など、多様な保育ニーズの実施が求められており、子育て支援の基盤整備を推進していく。

個別目標に対するまちづくり評価

テレビや新聞では「少子化」や「子育て支援」など、子育てをめぐる諸問題について大きく報じられている。子どもと子育てを応援することは、「未来への投資」であり、次代を担う子どもたちが健やかにたくましく育ち、子どもの笑顔があふれる社会の実現のために、事業を推進していただきたい。

個別目標② 家庭での子育て不安が解消でき、育児が楽しくできている

指標名		子育て支援センター(子育てサロン)の延べ利用者数					
	単位	H18 (基準値)	H26	H27	H28	H29	主な事務事業
目標値	人	—	12,000	12,500	12,500	12,500	・子育て支援センター事業
実績値		7,632	13,178	19,053	20,474		
達成率	%	—	109.8	152.4	163.8		
達成状況	—	—					
取り組みの状況							
市民	子どもや家庭の悩みについて、子育て支援センター等へ電話相談をした。サロンを利用し子育ての楽しみを得たり、子育てサークルに参加した。						
市役所	子育て支援センターを拠点として、子育て家庭に対して育児不安等への相談や子育てサークルの育成、支援、ほほえみ広場の開催及び情報誌の発行等を行った。						

指標名		児童虐待発生件数					
	単位	H18 (基準値)	H26	H27	H28	H29	主な事務事業
目標値	件	—	↓	↓	↓	↓	・児童虐待防止対策緊急強化事業
実績値		6	63	72	59		
達成率	%	—	9.5	8.3	10.2		
達成状況	—	—					
取り組みの状況							
市民	虐待の兆候があると思われる世帯を見聞きしたときに、児童相談センター及び市役所子育て支援課に通報した。						
市役所	市民や小中学校及び保育園などからの通報を受け、48時間以内の児童の安全確認と調査をしたうえで、指導及び保護した。						

目標達成のための今後の展開方針




子育て支援センターについては、ニーズに応じた教室、講座の充実や、子育て支援のための各種情報を子育て家庭へ提供していく。




児童虐待については、発見後の迅速な対応を最優先して事務を進める。児童虐待件数は、今後も増加することが予想されるが、関係機関と協力し、子どもの安全を第一に考えた対応を行う。




個別目標に対するまちづくり評価

児童虐待を防止するとともに、虐待を受けた子どもへのきめ細やかな対応をお願いしたい。

個別目標③ 異年齢児との交流や親子での遊びを通じ、子どもが健全に育っている

指標名		児童館活動への延べ参加利用者数					
	単位	H18 (基準値)	H26	H27	H28	H29	主な事務事業
目標値	人	—	140,000	140,000	140,000	140,000	・児童館活動事業
実績値		132,393	135,456	149,280	136,407		
達成率		%	—	96.8	106.6	97.4	
達成状況	—	—					
取り組みの状況							
市民	児童館を交流の場として利用し、行事等に参加した。						
市役所	多くの市民の方が楽しんで参加できるような児童館行事等の実施に向け、定期的に各児童館の職員が集い意見交換を行い、行事を実施した。						

指標名		子どもフェスティバル来場者数					
	単位	H18 (基準値)	H26	H27	H28	H29	主な事務事業
目標値	人	—	30,000	30,000	30,000	30,000	・こどもフェスティバル事業
実績値		20,000	28,000	25,000	25,000		
達成率		%	—	93.3	83.3	83.3	
達成状況	—	—					
取り組みの状況							
市民	親子や子ども同士が楽しく交流活動に参加した。 ボランティアとして事業の運営に協力した。 催し物を企画し、こどもフェスティバルに参加した。						
市役所	多くの市民の方が楽しんで参加できる催し物を実施した。 ボランティアの方に催し物の運営に参加していただくよう調整をした。 さまざまな市民団体が、こどもフェスティバルに参加できるよう調整をした。						

指標名		学童保育受入待機児童数					
	単位	H18 (基準値)	H26	H27	H28	H29	主な事務事業
目標値	人	—	0	0	0	0	・放課後児童健全育成事業
実績値		0	0	0	0		
達成率		%	—	100.0	100.0	100.0	
達成状況	—	—					
取り組みの状況							
市民	学童保育利用要件を証する書類を付して利用申請し、学童保育所の利用に対する手数料を納期限内に支払った。						
市役所	学童保育利用希望者に対し、書類の審査を行い、利用を決定した。 学童保育所の施設整備を実施し、対象年齢の拡充や待機児童の減少に努めた。						




目標達成のための今後の展開方針




児童館活動は、地域の中の児童館としての活動のあり方について検討する必要がある。
こどもフェスティバルの催し物の形態は定着しているが、マンネリ化しないように運営協議会等で新たな催し物について調査・研究していく。
学童保育については、対象学年の拡大に対応するため、教育課等と協議しながら施設・人材の確保を進める。

個別目標に対するまちづくり評価

子どもフェスティバルの来場者は、天候に大きく左右されるが、参加団体等と協力して催し物の改革改善を図るなど、市民が魅力あると感じるイベントにしていきたい。

個別目標④ 支援が必要な子育て家庭が自立して子育てができている

指標名		ひとり親家庭の自立人数					主な事務事業
	単位	H18 (基準値)	H26	H27	H28	H29	
目標値	人	—	95	95	98	98	・(市)児童扶養手当事業 ・児童・遺児手当等事業
実績値		83	83	125	99		
達成率		%	—	87.4	131.6	101.0	
達成状況	—	—					
取り組みの状況							
市民	児童扶養手当の受給と併行して、就労等を行い、所得増加を図ることにより自立をめざした。						
市役所	ひとり親家庭が自立するため、補完的な経済的支援を行った。						

指標名		ひとり親家庭が自立するための就労への教育支援件数					主な事務事業
	単位	H18 (基準値)	H26	H27	H28	H29	
目標値	件	—	30	30	35	40	・母子・父子家庭自立支援給付事業
実績値		6	4	5	7		
達成率		%	—	13.3	16.7	20.0	
達成状況	—	—					
取り組みの状況							
市民	ひとり親家庭が自立するため、必要な就労教育訓練を受けた。						
市役所	ひとり親家庭が自立するための必要な就労教育訓練への支援及び相談等を行った。						

目標達成のための今後の展開方針

ひとり親家庭の生活の安定と自立に向け、多種多様な相談に対応できるよう、母子・父子相談員を中心とし、ハローワーク等の関係機関と連携しながら支援を実施していく。
ひとり親家庭の取り巻く環境やニーズ等を踏まえ、より多くのひとり親が、安定した就労につながる資格や就労に有効なスキルを習得できるよう、自立支援教育訓練給付金や高等職業訓練促進給付金の周知を図るとともに、給付金の支給を実施する。

個別目標に対するまちづくり評価

ひとり親家庭における親の就労については、昨今の社会情勢から所得を十分に得られている状況とは考えにくい。このような家庭に対する手厚い支援をお願いしたい。

柱全体のまちづくり評価

◆柱全体の得られた成果

0歳児保育実施保育園として平成27年度には布袋西保育園、平成28年度には宮田南保育園を追加し、合計11園に拡充したことにより、増加している低年齢児の保育需要に対応することができた。平成27年1月17日には、第3子育て支援センターを開所し、子育て相談の場の充実を図ることができた。また、学童保育については、子ども・子育て支援新制度による利用対象学年の拡大に対応するために平成26年度には宮田学童保育所、平成27年度には、門弟山学童保育所、平成28年度には、古知野東、古知野南、布袋の各学童保育所の整備を実施し、仕事と子育てが両立できる環境を構築することができた。

◆柱全体の今後の課題

現在、子どもや子育てをめぐる環境は厳しく、近年の家族構成の変化や地域のつながりの希薄化によって子育てに不安や孤立感を感じる家庭は少なくない。本格的な人口減少社会が到来し、子どもを生子、育てたいという個人の希望がかなうようにするためのサポートが強く求められている。保育サービスの充実を望む声も増加傾向にあり、親が子どもを育てやすい環境整備を図るなど、積極的に支援することが必要である。

◆柱全体の今後の取り組みの方向性

少子高齢化が進んでいるにも関わらず、共働き世帯の増加、就労形態の多様化などにより保育サービスに対するニーズは増加しており、保育園については、特に3歳未満児の入所希望者が増加傾向にある。さらなる低年齢児保育への対応に努めなければならない。また、休日保育、病児・病後児保育等、多様化するニーズに対し、保育サービスの充実に努める。

学童保育の利用希望者も年々増加している。利用対象年齢の小学校6年生まで拡大に向け、施設の充実を図る。子育て不安を解消するため、気軽にまた多様な相談内容に対応できるように、各相談窓口の連携に努める。

まちづくり評価シート

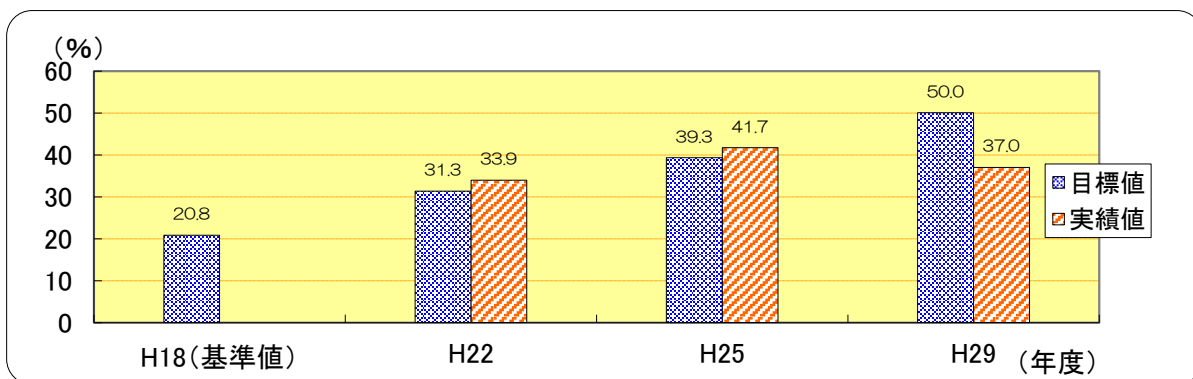
健康福祉部【担う分野：Ⅱ 健康、福祉分野】

福祉課【担う柱：3 障害者の生きがいと安心した生活の確保】

◆まちづくり（成果目標）の達成状況

全体目標 障害者が自立し、住み慣れた地域で生きがいをもって安心して暮らしている

指標名	福祉サービスが整っており、障害のある人が、作業所への通所やホームヘルパー、デイサービスなどの利用により、地域でいきいきと生活していると感じる市民の割合			
	単位	H18 (基準値)	H29	実績値の分析 平成29年5月に実施した市民満足度調査結果により目標値の達成率が74%という結果になった。障害福祉サービスの事業所、利用者ともに増えているので、市民の障害への正しい知識や理解が必要。
目標値	%	—	50.0	
実績値	%	20.8	37.0	
達成率	%	—	74.0	
達成状況	—	—		



全体目標に対するまちづくり評価

障害者個々の状況や必要とする福祉サービスはさまざまなので、聞き取りを的確に行うことにより障害の状況に応じた福祉サービスが提供されている。障害福祉サービスの供給体制を確保するため、障害福祉サービス提供事業所に対し、事業参入の働きかけを行ったことにより、利用増につながっている。
住み慣れた地域で安心して暮らしていくために、周囲の障害への正しい知識や理解を深めていく必要がある。

個別目標① 障害者が日常生活の支援を受け、能力にあった就労・社会参加をし、生活しやすい社会環境が整備されている

指標名	障害者の雇用率						
	単位	H18 (基準値)	H26	H27	H28	H29	主な事務事業 ・心身障害者小規模授産施設 管理運営事業 ・障害者福祉サービス給付事業
目標値	%	—	2.0	2.0	2.0	2.0	
実績値	%	1.46	1.59	1.70	1.69	—	
達成率	%	—	79.5	85.0	84.5	—	
達成状況	—	—				—	

取り組みの状況

市民	ハローワークや尾張北部障害者就業・生活支援センター「ようわ」等で職業相談を受けた。
市役所	ハローワークや尾張北部障害者就業・生活支援センター「ようわ」等と連携し、障害者雇用の促進・周知に努めた。

指標名 公共施設のバリアフリー化率							
	単位	H18 (基準値)	H26	H27	H28	H29	主な事務事業
目標値	%	—	↑	↑	↑	↑	・福祉計画策定事業
実績値		60.1	73.1	73.1	73.1		
達成率		—	121.6	121.6	121.6		
達成状況		—	—				
取り組みの状況							
市民							
市役所	障害者への合理的配慮を行うために、障害者差別解消法の周知に努めた。						

指標名 就労継続支援及び就労移行支援サービスの利用人数							
	単位	H18 (基準値)	H26	H27	H28	H29	主な事務事業
目標値	人	—	103	109	115	121	・障害者福祉サービス給付事業
実績値		不明	133	166	182		
達成率		—	129.1	152.3	158.3		
達成状況		—	—				
取り組みの状況							
市民	市内の障害福祉サービス事業所で利用者が関わり製品化した授産製品を市役所で販売した。						
市役所	就労継続支援及び就労移行支援サービスを提供する施設を支援した。						

指標名 施設入所支援サービスの利用人数							
	単位	H18 (基準値)	H26	H27	H28	H29	主な事務事業
目標値	人	—	87	87	87	87	・障害者福祉サービス給付事業
実績値		94	94	90	89		
達成率		—	92.6	96.7	97.8		
達成状況		—	—				
取り組みの状況							
市民	地域での自立を目指し、自立訓練や共同生活援助(グループホーム)等の支援を受けた。						
市役所	生活介護や自立訓練等の日中活動系サービスを利用し、グループホーム等に移行することで、施設入所者数の削減に努めた。						




指標名 訪問系サービス(ホームヘルプ等)の利用人数							
	単位	H18 (基準値)	H26	H27	H28	H29	主な事務事業
目標値	人	—	95	97	98	100	・障害者福祉サービス給付事業 ・障害者居宅生活支援事業
実績値		77	77	68	56	—	
達成率		—	81.1	70.1	57.1	—	
達成状況		—	—				

取り組みの状況	
市民	地域での自立した生活を送るために、居宅介護(ホームヘルプ)等の支援を受けた。
市役所	個々の状況に応じた居宅介護(ホームヘルプ)等の訪問系サービスを提供した。




目標達成のための今後の展開方針
障害者・児の地域生活を支援する「地域生活支援拠点」の整備を検討する。また、障害者の就労に対する相談体制の充実や福祉的就労の場を確保していく。

個別目標に対するまちづくり評価
障害者が安定した生活を送るために何を求めているのか、ニーズ把握を行う必要がある。

個別目標② 障害者等が住み慣れた家庭や地域で安全・安心に生活することができるよう地域での福祉活動が行われている

指標名	基幹相談支援センターへの相談件数						主な事務事業	
	単位	H25 (基準値)	H26	H27	H28	H29		
目標値	人	—	1,200	1,200	1,200	1,200	・基幹相談事業	
実績値		—	1,083	1,324	1,409	—		
達成率		%	—	90.3	110.3	117.4		—
達成状況		—	—					—

取り組みの状況	
市民	日常生活等の困りごと等を基幹相談支援センターに相談した。
市役所	3障害に対応する相談支援体制を実施し、関係機関との連携を図り情報交換を行った。




指標名	社会福祉法人への指導監査における不適正な運営指摘件数						主な事務事業	
	単位	H25 (基準値)	H26	H27	H28	H29		
目標値	件	—	0	0	0	0	・社会福祉法人監査指導事業	
実績値		0	3	0	0	—		
達成率		%	—	0.0	100.0	100.0		—
達成状況		—	—					—

取り組みの状況	
市民	
市役所	社会福祉法人において不適切な運営が為されていないかを確認した。

目標達成のための今後の展開方針
基幹相談支援センターの運営方法について検討を行っていく必要がある。

個別目標に対するまちづくり評価
基幹相談支援センターについては、その機能の一部を社会福祉協議会に委託しているものの、市の直営で業務を行っているため、困難ケースについて対応できる人材が不足している。今後はセンターの在り方について検討していく必要がある。

個別目標③ 障害児は療育支援や発達支援を受けている

指標名 市の母子通園施設への受入待機児童数							
	単位	H18 (基準値)	H26	H27	H28	H29	主な事務事業
目標値	人	—	0	0	0	0	・わかくさ園管理運営事業
実績値		0	0	0	0		
達成率		%	—	100.0	100.0	100.0	
達成状況	—	—					
取り組みの状況							
市民	健康検査で指摘された障害児や発達に遅れがある子どもを持つ保護者は、積極的に施設を利用し療育指導を受けた。						
市役所	関係機関と連携を図りながら、集団訓練、日常生活自立訓練、その他の訓練を行い子供の健全な育成を支援した。						

目標達成のための今後の展開方針

障害をもつ乳幼児やその家族への療育体制の充実に向けて、地域療育・支援のあり方を視野に入れ、課題やニーズの把握、施策の方向性や関係機関との具体的な連携策等について検討を行う。

個別目標に対するまちづくり評価

できるだけ早期に、適切な療育を行うことにより、障害の軽減及び基本的な生活能力の向上が図られるので、障害の早期発見、早期療育等の療育体制を充実していただきたい。

柱全体のまちづくり評価

◆柱全体の得られた成果

障害者個々の状況や必要とする福祉サービスはさまざまなので、聞き取りを的確に行い、状況に応じた福祉サービスを提供することはできた。障害福祉サービスの供給体制を確保するため、障害福祉サービス提供事業所に対し、事業参入の働きかけを行ったことにより利用増につながった。

◆柱全体の今後の課題

障害者やその家族が相談できる身近な場所の確保や障害者が能力に応じた就労等を行い、さらには個々のニーズに基づいた必要な支援サービスを受けることができるよう、多様なニーズに対応する相談支援や障害福祉サービスの充実に努めるなど、住み慣れた地域で自立した生活ができる環境づくりが求められている。

◆柱全体の今後の取り組みの方向性

江南市基幹相談支援センター及び社会福祉協議会を中心に、地域の相談支援体制の強化に努める。利用促進を図るための周知と啓発に努めるとともに、周囲の障害への正しい知識や理解を深めていく必要がある。障害者が能力に応じた就労等を行い、個々のニーズに基づいた必要な支援サービスを受けることができるよう、多様なニーズに対応する相談支援や障害福祉サービスの充実に努め、障害者の自立と参加を支援する。


まちづくり評価シート

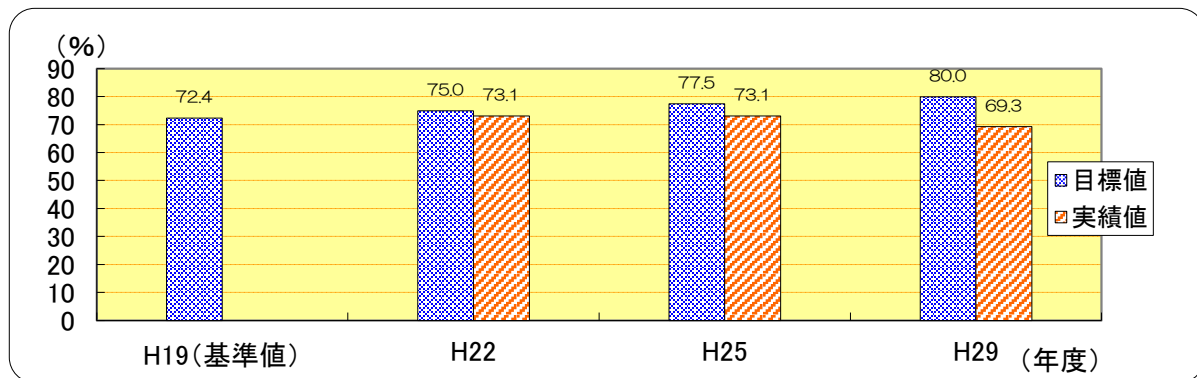
健康福祉部【担う分野：Ⅱ 健康、福祉分野】

健康づくり課【担う柱：4 健康な生活の確保】

◆まちづくり（成果目標）の達成状況

全体目標 自ら健康づくりに取り組み、健康に暮らしている

指標名	健康づくりに取り組み、健康に暮らしていると感じる市民の割合			実績値の分析
	単位	H19 (基準値)	H29	
目標値	%	—	80.0	平成29年4月に実施した市民満足度調査結果は22年度、25年度の調査結果より低下している。 健診(検診)機会等を提供しているが、市民の健康格差などが課題となっている。
実績値		72.4	69.3	
達成率	%	—	86.6	
達成状況	—	—		




全体目標に対するまちづくり評価

市民満足度調査で「健康づくりに取り組み、健康に暮らしていると感じる」市民の割合は、平成22年度、25年度調査より低下し、目標値は達成していない。市は健診(検診)機会等を提供しているが、市民の健康格差などが課題となっている。

がん検診を始めとする検診(健診)後の精密検査受診率が低値であり、疾病の早期発見、早期治療のためにも、精密検査受診の必要性を広く周知する必要がある。

健康に関する情報の提供、知識普及のための健康教育、またかかりつけ医を持つことを推奨し、健康格差を縮小するために、市民全体の健康意識の向上を図っていく必要がある。

個別目標① 自らが疾病予防に取り組んでいる




指標名	健康診査受診率						主な事務事業
	単位	H19 (基準値)	H26	H27	H28	H29	
目標値	%	—	72.5	73.5	74.5	75	・健康管理事業 ・節目年齢歯科健康診査事業
実績値		67.7	—	—	—	69.8	
達成率	%	—	—	—	—	93.1	
達成状況	—	—	—	—	—		

取り組みの状況

市民	がん検診、節目年齢歯科健康診査等を受診した。
市役所	検(健)診の案内を広報、ホームページに掲載、ポスター、回覧板、保育園や幼稚園の保護者向けチラシ等にて周知した。 節目年齢歯科健康診査の対象者には個別通知をした。

指標名 運動習慣のある市民の割合【男】							
	単位	H14 (基準値)	H26	H27	H28	H29	主な事務事業
目標値	%	—	32.0	33.5	35.5	37.0	・健康推進事業
実績値		16.4	—	—	—		
達成率		—	—	—	—		
達成状況		—	—	—	—		
取り組みの状況							
市民	市が実施する事業へ積極的に参加するとともに、からだを普段から動かすように意識した。						
市役所	生活習慣病予防等の教室に運動の内容を組み入れて実施した。あらゆる機会を通して健康体操等の普及に努めた。						

指標名 運動習慣のある市民の割合【女】							
	単位	H14 (基準値)	H26	H27	H28	H29	主な事務事業
目標値	%	—	29.0	30.5	32.5	34.0	・健康推進事業
実績値		14	—	—	—		
達成率		—	—	—	—		
達成状況		—	—	—	—		
取り組みの状況							
市民	市が実施する事業へ積極的に参加するとともに、からだを普段から動かすように意識した。						
市役所	生活習慣病予防等の教室に運動の内容を組み入れて実施した。あらゆる機会を通して健康体操等の普及に努めた。						

指標名 健康フェスティバル参加者数							
	単位	H18 (基準値)	H26	H27	H28	H29	主な事務事業
目標値	人	—	3,700	3,800	3,900	4,000	・健康推進事業
実績値		1,600	3,896	3,364	3,282		
達成率		—	105.3	88.5	84.2		
達成状況		—	—				
取り組みの状況							
市民	健康フェスティバルに参加し、健康づくりに対する意識を高めた。						
市役所	健康づくりを考える機会として健康フェスティバルを実施した。						




目標達成のための今後の展開方針




がん検診を個別検診に移行させることにより、かかりつけ医を推進し、普段の健康の相談や健康管理が自ら行えるように支援する。
健康意識の向上、検診受診者、保健事業への参加者の拡大につなげるため、健康情報を広報やホームページ等で市民に分かりやすく周知する。




個別目標に対するまちづくり評価

第2次健康日本21こうなん計画に沿って、検(健)診の受診機会の提供、運動習慣のある市民が増加する取り組みが実施できている。
健康生活習慣は継続が必要なため、今後も引き続き実施していただきたい。

個別目標② 必要な予防接種を受け、感染症にかかることなく健康を維持している

指標名 予防接種(四種混合)接種率							
	単位	H18 (基準値)	H26	H27	H28	H29	主な事務事業
目標値	%	—	100.0	100.0	100.0	100.0	・予防接種事業
実績値		89.4	95.2	93.3	99.9		
達成率		—	95.2	93.3	99.9		
達成状況	—	—					
取り組みの状況							
市民	四種混合予防接種の必要性を理解し予防接種(医療機関)を受けた。						
市役所	四種混合予防接種の必要性や副反応について資料の個別通知や赤ちゃん訪問、予防接種説明会で説明し予防接種を受けることを勧奨した。						

指標名 予防接種(BCG)接種率							
	単位	H18 (基準値)	H26	H27	H28	H29	主な事務事業
目標値	%	—	100.0	100.0	100.0	100.0	・予防接種事業
実績値		98.1	93.3	99.3	98.0		
達成率		—	93.3	99.3	98.0		
達成状況	—	—					
取り組みの状況							
市民	BCGの必要性を理解し予防接種(集団)を受けた。						
市役所	予防接種の予診票や説明書を送付し予防接種を受けることを勧奨した。 予防接種説明会を実施し、予防接種の受け方、スケジュールの立て方を説明した。						

指標名 狂犬病予防注射接種率							
	単位	H18 (基準値)	H26	H27	H28	H29	主な事務事業
目標値	%	—	100.0	100.0	100.0	100.0	・動物保護・管理事業
実績値		83.6	83.5	83.1	81.4		
達成率		—	83.5	83.1	81.4		
達成状況	—	—					
取り組みの状況							
市民	狂犬病の予防注射を集団接種会場又は動物病院で受け、注射したことを届け出た。						
市役所	狂犬病の予防注射の勧奨と注射済であることを届け出る必要性を広報や個別通知で周知した。						

目標達成のための今後の展開方針

予防接種対象者が、時期を逃さず接種が受けられるよう情報提供していく。
 予防接種対象者へ、適切な案内をしていくことで接種率の確保につなげたい。引き続き予防接種事故防止の対策をとっていく。
 かかりつけ医等で予防接種が受けやすくするため、愛知県広域予防接種事業について市民へ情報提供していく。

個別目標に対するまちづくり評価

予防接種を実施することは、自分の健康を守るだけでなく、病気の感染防止にも役に立っている。定期接種の接種時期を逃さず予防接種ができるよう周知を徹底してほしい。

個別目標③ 母子が健康保持に積極的に取り組み、母子共に健康に暮らしている。

指標名 妊婦健康診査の受診率							
	単位	H18 (基準値)	H26	H27	H28	H29	主な事務事業
目標値	%	—	100.0	100.0	100.0	100.0	・母子健康管理事業
実績値		95.3	101.8	92.6	101.2		
達成率		—	101.8	92.6	101.2		
達成状況	—	—					
取り組みの状況							
市民	医療機関にて妊婦健康診査を定期的に受診した。						
市役所	母子健康手帳交付時に妊婦健康診査の重要性を周知し、最大14回の妊婦健康診査の費用助成を行った。産婦健診では産後うつが発見のためメンタルチェックを取り入れた。						


指標名 乳幼児健康診査(4か月児健康診査)の受診率							
	単位	H18 (基準値)	H26	H27	H28	H29	主な事務事業
目標値	%	—	100.0	100.0	100.0	100.0	・母子健康管理事業
実績値		98.5	98.7	98.6	96.9		
達成率		—	98.7	98.6	96.9		
達成状況	—	—					
取り組みの状況							
市民	広報や案内通知で健診日を確認し、健康診査を受けた。						
市役所	健診対象ごとの受診日を広報と市ホームページに掲載するとともに、健診案内・子どもの様子等を記入するアンケートを対象者へ送付し、受診を勧奨した。又、未受診者へは電話、郵送などで再度受診の勧奨を行った。						




目標達成のための今後の展開方針
 妊婦健康診査の定期受診の必要性を伝えていくとともに、保健師が身近な存在として、相談できる体制を作っていく必要がある。




個別目標に対するまちづくり評価
 妊婦が安心して出産・子育てができるよう精神的支援を行っていただきたい。
 また、乳幼児健診時にアンケートを行い、状況を聞き取ることで虐待の早期発見に努めて欲しい。

個別目標④ 市民が安心して医療を受けている

指標名 かかりつけ医をもっている市民の割合							
	単位	H19 (基準値)	H26	H27	H28	H29	主な事務事業
目標値	%	—	65.0	66.5	68.5	70.0	・地域医療推進支援事業
実績値		56.2	—	—	—	65.5	
達成率		—	—	—	—	93.6	
達成状況	—	—	—	—	—		
取り組みの状況							
市民	市から提供される情報により、病状やケガの程度により医療機関を選んでいる。						
市役所	市ホームページから、尾北医師会、尾北歯科医師会のホームページにリンクし、各医療機関の診療科目、診療時間、所在等の情報を提供した。						

指標名	病院等の医療体制が整い、安心して暮らしていると感じる市民の割合						
	単位	H18 (基準値)	H26	H27	H28	H29	主な事務事業
目標値	%	—	73.0	75.0	76.0	78.0	・休日急病診療所管理・運営事業 ・地域医療推進支援事業 ・江南厚生病院建設費補助事業
実績値		49.3	—	—	—	76.1	
達成率	%	—	—	—	—	97.6	
達成状況	—	—	—	—	—		
取り組みの状況							
市民	医療機関の診療時間外の急な病気やケガの場合は、軽度であれば休日急病診療所を受診し、重度の場合は第2次救急医療機関を受診している。						
市役所	休日急病診療所の開設、第2次救急医療対策費補助金・小児救急医療対策費補助金の医療機関等への交付及び江南厚生病院建設費補助金の交付により、医療機関等への支援を実施し、医療体制の確保に努めた。						

指標名	休日急病診療所の受診者数						
	単位	H20 (基準値)	H26	H27	H28	H29	主な事務事業
目標値	人	—	2,200	2,200	2,200	2,200	・休日急病診療所管理・運営事業 ・地域医療推進支援事業
実績値		2,138	2,400	2,280	2,524		
達成率	%	—	109.1	103.6	114.7		
達成状況	—	—					
取り組みの状況							
市民	休日の急な病気やケガの場合に、第1次救急医療施設として休日急病診療所を受診している。						
市役所	尾北医師会に運営を委託し休日急病診療所を開設した。						

指標名	救急搬送件数						
	単位	H20 (基準値)	H26	H27	H28	H29	主な事務事業
目標値	件	—	4,000	4,000	4,000	4,000	・休日急病診療所管理・運営事業 ・地域医療推進支援事業 ・江南厚生病院建設費補助事業
実績値		4,000	4,940	4,959	4,906	—	
達成率	%	—	81.0	80.7	81.5		
達成状況	—	—				—	
取り組みの状況							
市民	医療機関の診療時間外の急な病気やケガの場合、適切な医療が受けられるよう第2次救急医療機関を受診している。						
市役所	第2次救急医療対策費補助金・小児救急医療対策費補助金の医療機関等への交付及び江南厚生病院建設費補助金の交付により、医療機関等への支援を実施し、医療体制の確保に努めた。						

目標達成のための今後の展開方針							
第1次救急医療施設として傷病の初期医療を担当する休日急病診療所の周知に努める。 休日急病診療所の施設設備の経年劣化に対し、計画的に補修及び修繕を行い維持管理を行っていく。 救急医療体制を充実させるため、江南厚生病院・総合犬山中央病院・さくら総合病院へ必要な助成を行う。							

個別目標に対するまちづくり評価							
休日・夜間の急な病気やケガをした場合に、その症状に対応できる医療機関に受診できる体制を整えてほしい。							

柱全体のまちづくり評価

◆柱全体の得られた成果

各種がん検診などの情報をより身近な場所で得ることができるように、ポスター等掲示機関の拡大、メール配信等を行ったが、受診率の向上にはつながらなかった。また、がん検診等の精密検査の受診率が低値であり、がん等の早期治療につながっていない。

予防接種、妊産婦および乳幼児の健康診査は、ともに高い接種率、受診率を保つことができた。

1次医療の充実を図り、安心できる医療体制をとることができた。

◆柱全体の今後の課題

生活習慣病の早期発見、早期治療を阻む一因として、健康診査や各種がん検診を定期受診する人および精密検査受診者が少ないという現実があり、よりよい生活を維持するためにも健診(検診)等の受診率の向上が必要となる。

また、健康づくりに気軽に取り組める環境整備として、こうなん健康マイレージ事業などの取り組みが行われているが、周知度が十分ではなく、情報の発信や取り組みやすい環境づくりが課題である。

平成28年度にB型肝炎ワクチンが定期予防接種に加わり、今後はさらに定期接種が追加されていく見込みであるので、接種を受けやすい体制づくりが課題となる。

子育て世代の心身の健康保持のため、各機関が連携して、支援する仕組み作りが必要となる。

◆柱全体の今後の取り組みの方向性

がん検診等の受診及び精密検査の必要性を周知し、受診率向上を目指す。

乳幼児の予防接種や妊婦・産婦・乳幼児健康診査は、高い接種率、受診率を維持しているが、さらなる向上を目指し、引き続き勸奨等に努める。

市民が気軽に健康づくりに取り組める環境整備に努める。

まちづくり評価シート

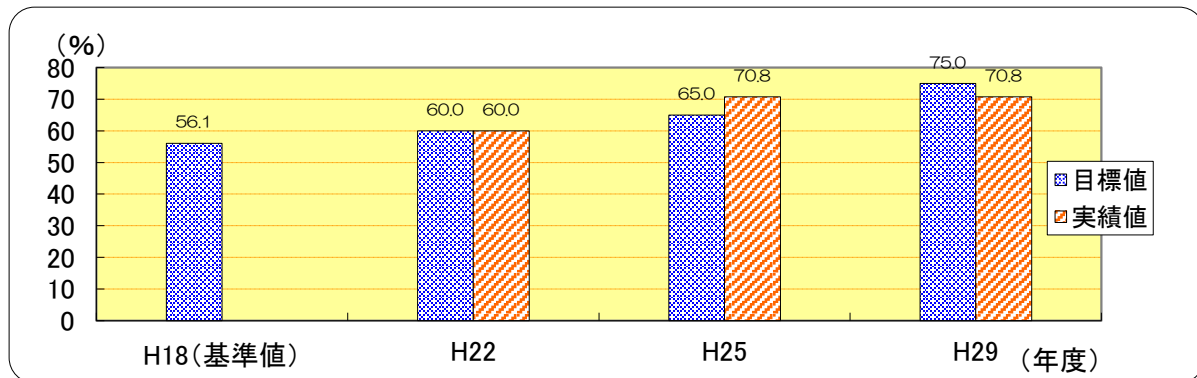
健康福祉部【担う分野：Ⅱ 健康、福祉分野】

保険年金課【担う柱：5 保険年金制度の健全な運営】

◆まちづくり（成果目標）の達成状況

全体目標 保険年金制度が健全に運営され、もしもの場合の生活の不安が軽減され、安心して暮らしている

指標名	保険年金制度により安心して暮らしていると感じる市民の割合			実績値の分析
	単位	H18 (基準値)	H29	
目標値	%	—	75.0	保険年金制度により安心して暮らしていると感じる市民の割合は、平成25年度とかわらず70.8%である。窓口での丁寧な説明や、広報こうなん等による制度のPRが評価されている一方で、度重なる制度変更の影響により、制度に対する理解が深まらない傾向にある。
実績値		56.1	70.8	
達成率	—	—	94.4	
達成状況	—	—	☀	






全体目標に対するまちづくり評価




国民健康保険及び後期高齢者医療制度について、セーフティネットとしての役割がこれまで以上に増し、市民ニーズが高くなることが予想される。今後も健全で安定した制度の維持に努めてほしい。




個別目標① 医療保険制度が健全に運営され、市民が安心して医療を受けている

指標名	国民健康保険給付実施率						主な事務事業
	単位	H18 (基準値)	H26	H27	H28	H29	
目標値	%	—	100.0	100.0	100.0	100.0	・保険給付事業
実績値		100.0	100.0	100.0	100.0		
達成率		—	—	100.0	100.0	100.0	
達成状況	—	—	☀	☀	☀		

取り組みの状況	
市民	高額療養費や療養費などの必要な給付について申請を行った。
市役所	被保険者に必要な医療給付等を行った。

指標名		特定健康診査実施率					
	単位	H (基準値)	H26	H27	H28	H29	主な事務事業
目標値	%	—	52.5	55.0	57.5	60.0	・特定健康診査・特定保健指導 事業
実績値		—	46.5	46.5	44.8		
達成率		—	88.6	84.5	77.9		
達成状況	—	—					
取り組みの状況							
市民	40歳以上の被保険者は、特定健康診査・特定保健指導を受診し、健康維持に努めた。						
市役所	特定健康診査・特定保健指導の受診率の向上をめざし、広報こうなん等でのPRに努めた。						

指標名		福祉医療費助成実施率					
	単位	H18 (基準値)	H26	H27	H28	H29	主な事務事業
目標値	%	—	100.0	100.0	100.0	100.0	・福祉医療費助成事業 ・子ども医療費助成事業
実績値		100.0	100.0	100.0	100.0		
達成率		—	100.0	100.0	100.0		
達成状況	—	—					
取り組みの状況							
市民	医療費受給者証の交付申請を行った。住所、加入保険等の変更届を提出した。県外受診等により、現物給付による助成を受けることができなかった場合は、償還払いの申請を行った。						
市役所	受給資格者に対し、医療費受給者証を交付した。県外受診等により現物給付ができなかった場合は、申請に基づき、償還払により助成した。						

指標名		後期高齢者医療給付実施率					
	単位	H (基準値)	H26	H27	H28	H29	主な事務事業
目標値	%	—	100.0	100.0	100.0	100.0	・後期高齢者医療支援事業
実績値		—	100.0	100.0	100.0		
達成率		—	100.0	100.0	100.0		
達成状況	—	—					
取り組みの状況							
市民	後期高齢者医療制度の療養費など各種申請、届出を行った。						
市役所	後期高齢者医療被保険者からの療養費など各種申請、届出を愛知県後期高齢者医療広域連合に進達した。愛知県後期高齢者医療広域連合へ納付金を支出した。						




指標名 国民健康保険税収納率(現年分)							
	単位	H18 (基準値)	H26	H27	H28	H29	主な事務事業
目標値	%	—	↑	↑	↑	↑	・保険税賦課事業 ・収納対策事業
実績値		91.7	92.1	92.5	93.0		
達成率		—	100.4	100.9	101.4		
達成状況	—	—					
取り組みの状況							
市民	国民健康保険税を期限内に納付した。						
市役所	戸別訪問徴収を実施した。 出張納税相談を実施した。 口座振替の勧奨を窓口で行った。						

指標名 後期高齢者医療保険料納付率							
	単位	H (基準値)	H26	H27	H28	H29	主な事務事業
目標値	%	—	↑	↑	↑	↑	・後期高齢者医療支援事業
実績値		98.9	99.4	99.4	99.5		
達成率		—	100.5	100.5	100.6		
達成状況	—	—					
取り組みの状況							
市民	後期高齢者医療保険料を期限内に納付した。						
市役所	被保険者に対し、保険料の徴収や納付相談等、きめ細かな対応を行った。						

目標達成のための今後の展開方針	
<p>国民健康保険給付については、制度改正に的確に対応するとともに被保険者に対しわかりやすい説明を心がける。</p> <p>特定健康診査については、実施方法や周知方法などの見直しを順次行い、受診率の目標達成をめざす。適切な医療受診を啓発することにより、医療費の抑制を図る。</p> <p>国民健康保険税の収納については、制度理解への啓発、口座振替の勧奨などにより目標達成をめざす。高齢者の方々の医療を確保するため、後期高齢者医療制度の啓発及びきめ細かな納付相談を行う。</p>	

個別目標に対するまちづくり評価	
<p>国民健康保険及び後期高齢者医療の保険医療の給付並びに子ども・母子・障害者などの福祉医療の給付については、実施できている。</p> <p>国民健康保険及び後期高齢者医療については、健全な運営をめざし、医療費の削減に効果のある各種事業を実施してほしい。</p>	

個別目標② 国民年金制度への理解が深まり、届出や保険料の納付が適正に行われている

指標名		国民年金保険料納付率					
	単位	H18 (基準値)	H26	H27	H28	H29	主な事務事業
目標値	%	—	↑	↑	↑	↑	・年金異動処理事業 ・年金保険料納付事業 ・年金給付事業 ・年金推進事業 ・年金相談事業
実績値		69.4	68.4	70.0	71.8		
達成率		—	98.6	100.9	103.5		
達成状況	—	—					
取り組みの状況							
市民	国民年金の資格取得などの届出、免除などの申請、給付に関する請求手続きなどを行った。国民年金の保険料を期限内に納付した。						
市役所	国民年金の届出、納付、その他制度に関する広報を行った。国民年金の資格取得などの届出、免除などの申請、給付に関する請求手続きなどを受理し、日本年金機構に報告した。						

目標達成のための今後の展開方針

国民年金保険料の納付督促や年金制度の周知に関する広報活動、及び免除等の申請書等の受付を継続して行い、年金事務所と協力連携して納付率の向上に取り組む。

個別目標に対するまちづくり評価

国民年金制度に対する不安があるなか、雇用や所得の持ち直し、日本年金機構の督促の強化により、国民年金保険料の納付率は若干上昇している。しかし、国民年金保険料の納付率は厳しい状況であるため、年金保険料の納付督促や年金制度の周知に関する広報活動、免除等の申請書の受付を行い、引き続き納付率の向上を図る。これまでに行ってきた事務事業を継続して実施し、年金事務所と協力連携して、さらに納付率の向上につながるよう取り組んでいく必要がある。

柱全体のまちづくり評価

◆柱全体の得られた成果

国民健康保険、後期高齢者医療、子ども・母子・障害者などの福祉医療制度において、給付を実施し、市民の生活の不安を軽減することができた。
国民年金の資格異動や免除申請、給付に関する請求手続きについて受付を行い、日本年金機構へ報告を行うなど、国民年金事務を円滑に進めることができた。

◆柱全体の今後の課題

国民健康保険は平成30年度から県が財政運営の責任主体を担うこととなるため、新たな仕組みに円滑に移行できるよう措置を講じる必要があるが、医療保険制度については、少子高齢化が加速する中で、健全で安定した運営を維持することが求められており、保険税(料)の確保及び医療費の抑制が課題となっている。
一方で、福祉医療制度の充実や医療の高度化などによる医療費の増加に対応するため、医療費適正化の推進に取り組む必要がある。
国民年金制度が、今後も安定した制度の運営を持続できるようにするためには、制度のPRと保険料の納付督促の推進が課題となる。

◆柱全体の今後の取り組みの方向性

国民健康保険については、制度が変わることに伴う保険税率の変更、制度内容の周知や、被保険者に対する健康管理への意識啓発に努める。
また、医療保険制度については、広報こうなんやパンフレットを利用して納税の推進や口座振替の勧奨を行い、医療費に関する情報などについて広く周知する。
国民年金保険料の納付率の向上を目指し、年金事務所との協力体制を強化するとともに、国民の年金制度に対する関心を高めるため、制度のPRなどを広く行う。

まちづくり評価シート

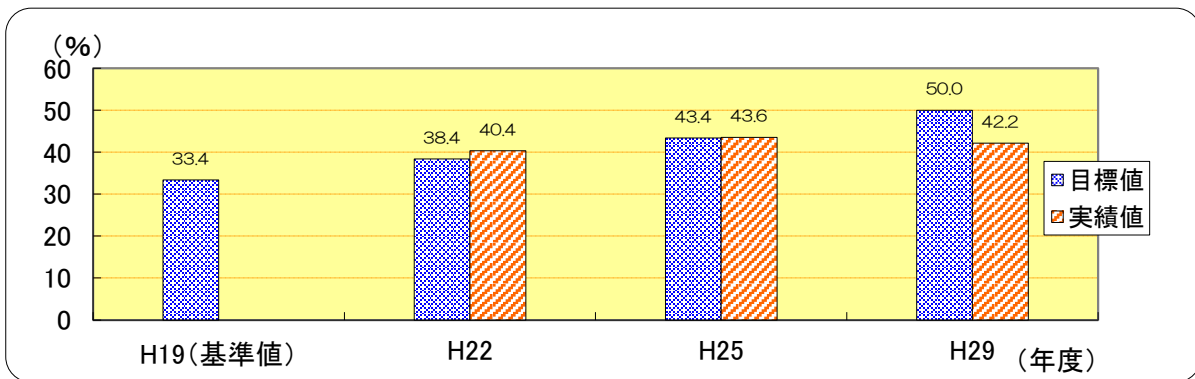
健康福祉部【担う分野：Ⅱ 健康、福祉分野】

福祉課【担う柱：6 地域での生活支援の充実と地域で支え合う体制の確保】

◆まちづくり（成果目標）の達成状況

全体目標 生活困窮者や高齢者などへの生活支援が充実し地域で支え合い、誰もが地域で安心して暮らしている

指標名	必要なときに地域で支え合う体制が整っていると感じる市民の割合			実績値の分析
	単位	H19 (基準値)	H29	
目標値	%	—	50.0	ハローワークなど関係機関との連携による支援を行ったことにより、平成29年5月に実施した、市民満足度調査結果により目標値の達成率が84.4%という結果になった。
実績値		33.4	42.2	
達成率	—	—	84.4	
達成状況	—	—		



全体目標に対するまちづくり評価

生活困窮者などの自立支援に向け、ハローワーク犬山、江南市社会福祉協議会と連携し、就労等の相談や経済的支援体制の整備を図るとともに、民生委員や福祉ボランティア等地域で支え合う体制の整備を図っていただきたい。

個別目標① 生活困窮者や被災者が支援を受け、自立している

指標名	生活保護世帯の自立した割合						主な事務事業
	単位	H18 (基準値)	H26	H27	H28	H29	
目標値	%	—	→	→	→	→	・生活保護事業 ・生活保護受給者就労支援事業
実績値		13.5	9.8	12.0	10.7		
達成率	—	—	72.3	88.9	79.3		
達成状況	—	—					

取り組みの状況

市民	生活保護受給者が自立に向け、就労支援員とともにハローワーク犬山等での求職活動を行った。
市役所	生活保護者の自立を促すため、随時、家庭訪問等面談を実施して、生活環境や就労・増収等のアドバイスを行った。

目標達成のための今後の展開方針

今まで以上に生活困窮者が増大することが予想される。そうしたニーズに対応できる体制が必要である。また、自立支援対策として新たに保護が開始された方に対する早期の就労支援や母子世帯に対する就労支援を行う。

個別目標に対するまちづくり評価

生活保護制度の自立助長機能を高めることと併せて、増大する生活困窮者に対し、生活保護受給に至る前の段階から安定した就労を支援することも緊要の課題となっている。そうしたニーズに対応できる相談体制の整備をお願いしたい。

個別目標② 社会福祉関係団体などが地域の福祉活動を積極的に行っている

指標名	社会福祉関係の団体数、参加人数【団体数】						主な事務事業
	単位	H18 (基準値)	H26	H27	H28	H29	
目標値	団体	—	25	25	25	25	・社会福祉関係団体育成事業 ・障害者団体育成事業
実績値		19	22	25	24		
達成率		%	—	88.0	100.0	96.0	
達成状況	—	—					
取り組みの状況							
市民	各種行事に団体が参加し、団体の活動についてPR等を行った。						
市役所	各団体への財政支援及び会議や活動の場へ赴き、支援や助言を行った。						

指標名	社会福祉関係の団体数、参加人数【参加人数】						主な事務事業
	単位	H18 (基準値)	H26	H27	H28	H29	
目標値	人	—	970	980	990	1000	・社会福祉関係団体育成事業 ・障害者団体育成事業
実績値		760	890	890	899		
達成率		%	—	91.8	90.8	90.8	
達成状況	—	—					
取り組みの状況							
市民	スポーツ大会、作品展など団体が行う事業に参加した。						
市役所	スポーツ大会などを行うため、障害者(児)連絡協議会や江南市社会福祉協議会を通じてボランティアセンターの支援を行った。						

指標名	市内の福祉関係のNPO団体数						主な事務事業
	単位	H18 (基準値)	H26	H27	H28	H29	
目標値	団体	—	6	6	7	8	・社会福祉関係団体育成事業
実績値		3	7	7	7		
達成率		%	—	116.7	116.7	100.0	
達成状況	—	—					
取り組みの状況							
市民	各団体が行っている福祉活動を通じてボランティア活動に参加した。						
市役所	各団体へ福祉関係に関するさまざまな情報を提供した。						




目標達成のための今後の展開方針

地域社会の担い手となるべき各団体の会員を増やすため、活動内容等をPRする。

個別目標に対するまちづくり評価

各団体の会員の構成が高齢化している。また、地域社会の担い手となるべき各団体の会員を増やす必要がある。

個別目標③ 生活困窮者や高齢者などは、民生委員等の支援を受け、問題を解決し、安定した生活をしている

指標名		民生委員の相談支援件数						
	単位	H18 (基準値)	H26	H27	H28	H29	主な事務事業	
目標値	件	—	↑	↑	↑	↑		・民生委員事業
実績値		2,103	2,970	1,761	2,447			
達成率		—	141.2	83.7	116.4			
達成状況	—	—						
取り組みの状況								
市民	生活面や経済面などの困りごとについて、身近な地区の民生委員・児童委員に相談した。							
市役所	地域住民からのニーズに対応するために、研修会の開催等民生委員・児童委員の知識向上を図った。							




目標達成のための今後の展開方針

経験の浅い、民生委員・児童委員に対して研修等への参加を促し、知識の向上を図る。

個別目標に対するまちづくり評価

地域で身近な相談ができる方として民生委員・児童委員は重要である。今後も研修会等を行い、民生委員・児童委員の知識向上を図ってもらいたい。

個別目標④ 地域住民が地域福祉活動や学習活動を積極的に行っている

指標名		市の学習等供用施設の利用者数						
	単位	H18 (基準値)	H26	H27	H28	H29	主な事務事業	
目標値	人	—	135,000	135,000	135,000	135,000		・学習等供用施設管理運営事業
実績値		121,286	119,602	124,907	115,618	—		
達成率		—	88.6	92.5	85.6			
達成状況	—	—				—		
取り組みの状況								
市民	学習等供用施設を積極的に利用した。 施設予約システムにより施設の空き状況を確認した。							
市役所	施設の効率的及び効果的な運営ができた。							

目標達成のための今後の展開方針

学習等供用施設の適切な維持管理・運営を行い、市民が利用しやすい環境を整える。

個別目標に対するまちづくり評価

年末年始を除き全日開館したことや施設予約システムでの運用は評価できる。市民ニーズを把握し、さらに利用しやすい環境をお願いしたい。

柱全体のまちづくり評価

◆柱全体の得られた成果

ハローワーク、就労支援員、江南市社会福祉協議会などの関係機関と連携し、生活困窮者などの自立に向けての支援を行うことができた。また、社会福祉関係団体の活動の支援を行った。

◆柱全体の今後の課題

社会経済情勢の悪化による生活困窮者や高齢者などが増え続けている中、これらの方々の自立に向けての経済的支援や生活支援等を充実させ、より一層関係機関との連携が求められる。

◆柱全体の今後の取り組みの方向性

生活困窮者などの自立支援に向け、ハローワーク、就労支援員、江南市社会福祉協議会と連携し、就労等の相談や経済的支援体制の整備を図るとともに、民生委員児童委員や福祉ボランティア等地域で支え合う体制の整備を図る。